

建築・設計と屋根を結ぶ情報誌 ● 2001年10月15日発行(1・4・7・10各月15日の年4回発行)第24号 平成10年5月27日第三種郵便物認可

季刊

2001 秋号

屋根と屋根材
ROOF & ROOFING

特集 「第11回薨賞」にみる瓦屋根の美と技能



PHOTO BY TADASHI MASUDA



▶景観賞 日本屋根経済新聞社賞

沖縄県平和祈念資料館

糸満市

(有)チーム・ドリーム

設計者の意図

沖縄戦が終わって56年、日本に復帰して28年が経つ。

23万余の人々の命と共に、祖先が長年培って作り上げた戦前の家屋や街並み、数多くの国宝級の建造物や文化財など、沖縄はすべてをこの沖縄戦で失った。戦前から現在までの沖縄の様変わりは激しい。亜熱帯の気候風土にあった独自の素晴らしい戦前の建築文化や景観は、戦後伝承されることなく、フラットルーフのコンクリートの建物によって街は埋め尽くされ、都市が拡大してきた。

悲惨な沖縄戦の記憶も風化しつつある。戦争体験者も高齢となり、今、しっかりと沖縄戦の経緯を、未来を

平和を願う心を形にした 屋根は大小70の赤瓦集落

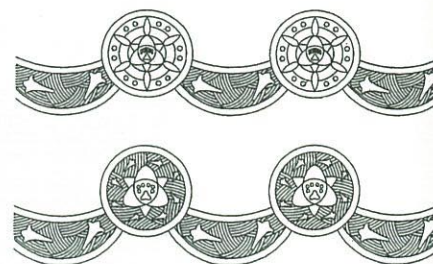
担う若者達に伝えなければならない。

敷地である糸満市摩文仁は沖縄県本島南端にある沖縄戦終焉の地で、国定戦跡公園の中の景勝地の一角にある。しかも、沖縄戦で亡くなった23万余の人々の名前が刻まれた「平和の礎」のすぐ横に建つこの平和祈念資料館は、沖縄にとって大きな重責を負う施設だ。

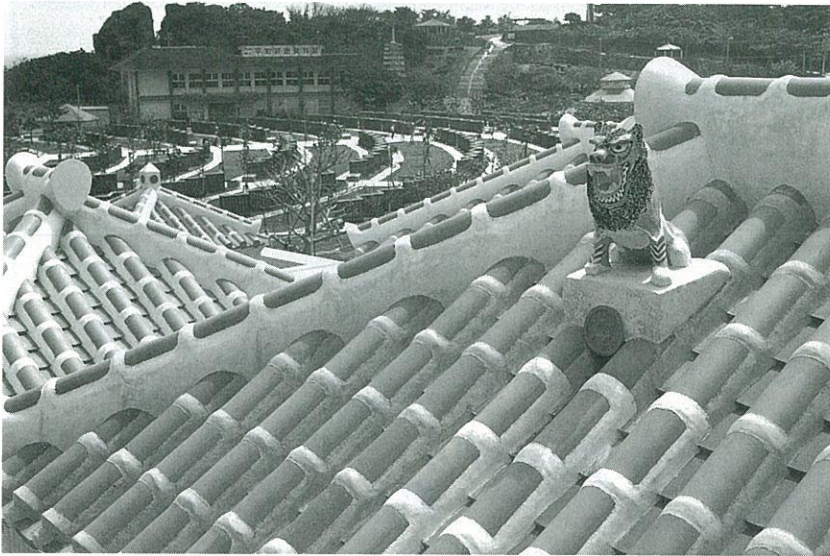
この平和祈念資料館の設計コンセプトは、沖縄のかつての伝統文化を継承しながら、「沖縄の将来の夢や平和を希求する心をかたちにすること」であった。

「平和の火」を中心とし、「平和の礎」を取り囲みながら海に開くように同心円状に建物を配置し、かつての沖縄の伝統的な集落を思わせるよ

うな、数多くの赤瓦屋根をのせた。色・形ともインパクトの強いこの赤瓦屋根は、「沖縄の美しい景観」をつくり、青い空と白い雲、樹木の濃い緑、紺碧の海と共に、沖縄の気候風土の中で、周辺に溶け込み、地元の誰もが郷愁を感じる「ウチナー（沖縄）の様相であり心」である。



軒先丸瓦(男瓦)2種、平瓦(女瓦)の花瓦いずれも沖縄の花、平和の象徴花文であるテッポウユリをモチーフとしている。花の正面星形図をはじめ、側横図、葉文、葉脈、種などに平和へのメッセージが込められている。



シーサーが象徴する沖縄の赤瓦屋根

福村 俊治氏・談

いまだ赤瓦への郷愁が強い
一番似合うのは小さな家

沖縄戦で、戦前の伝統的な赤瓦屋根の集落はほとんど焼かれて消滅し、戦後は残念なことにコンクリート造のフラット屋根の家ばかりになってしまいました。だが、いまだ沖縄の人々は赤瓦への郷愁を強く抱いています。

真っ青な空と海、そして赤瓦の屋根こそが沖縄の気候風土にあった風景です。とくに赤瓦屋根が一番似合うのは小さな家で、その集落の再現をこの資料館で試みました。

最近、公共施設にも赤瓦屋根が採用されることが増えていますが、赤瓦は大きな屋根には映えないと思っています。つまり、それらの屋根はコンクリートスラブの上に“装飾”として使われ、屋根が

大きすぎるからです。

資料館は、沖縄戦で亡くなられた23万余の人々の名前が刻まれた「平和の礎」を囲むように計画しました。延床面積が1万㎡もあり、「平和の礎」の横でできるだけ突出しないように心がけました。

そこで赤瓦集落をイメージした大小70のすべて形状の異なる屋根を配置しました。屋根勾配は3寸から10寸までの4種類とし、そこに色味が異なる赤瓦や、白漆喰や赤漆喰、シーサーや鬼瓦など、ひとつとして同じ屋根形状、同じ赤瓦屋根がないように工夫しました。

多くの観光客や外国人が、資料館の見学に訪れます。沖縄の赤瓦を知ってもらうにはよい機会だと思っています。

資料館は40mの段崖の上に建っています。去年、風速59.5mの台風に襲われましたが、赤瓦はびくともせず、ほっとしました。

建築名／沖縄県平和祈念資料館
沖縄県糸満市摩文仁614-1
平和祈念公園内

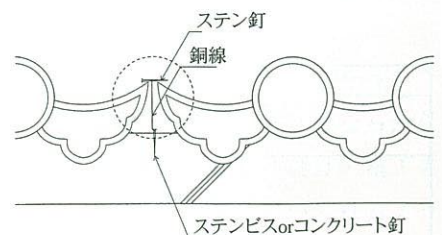
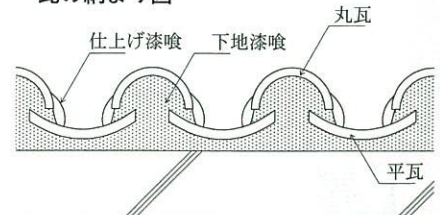
設計者／(有)チーム・ドリーム
沖縄県那覇市曙2-14-12
名建ビル4F
TEL 098-866-5038

施工／大米建設JV
沖縄県那覇市港町3-6-11
TEL 098-862-0882
国場組JV
沖縄県那覇市久茂地3-21-1
TEL 098-863-3141
大城組JV
沖縄県浦添市勢理客2-11-4
TEL 098-877-3625

屋根施工／(有)沖縄陶業
沖縄県島尻郡玉城村親慶原
276-1
TEL 098-948-7015
(有)奥原製陶
沖縄県島尻郡与那原町上与
那原397-1
TEL 098-945-6393

建物構造／RC造
延床面積／10178㎡
使用瓦／沖縄県産無釉瓦
竣工／平成12年3月

瓦の納まり図



軒先瓦は強風対策としてステン釘・銅線で固定

